

名古屋市立豊治小学校での出前講座実施報告書



1) 講座の様子

名古屋自然保護官事務所では、7月16日（金）に名古屋市立豊治小学校、4年生3クラス（81名）を対象に、出前講座を実施しました。名古屋市のごみ減量のきっかけとなった藤前干潟はどういうところなのか、またどういった生きものたちがいるのかを、知することを目的として講座を依頼されました。

講座では、今回もクイズや動画を入れ混ぜながら干潟が出来る仕組みや生きものたちの魅力に迫りました。底生生物のアナジャコについて、何m穴を掘るかクイズをしたところ、正解者はほとんどおらず、自分の身長を遙かに上回る2mも穴を掘ることにみなさん驚きを隠せない様子でした。シジミの浄化実験では、3クラスとも実験が成功し、シジミが水を浄化する能力を実際に見てもらうことができました。下水処理場みたいという声も上がり、干潟の生きもの的重要性について理解が深まっていることを感じました。

名古屋市では、小学校4年生でごみに関する授業を扱うので、藤前干潟が埋め立て処分場から守られた背景は知っていました。しかし、現状の課題である漂着ごみ問題を紹介したところ、釣り糸や注射器が生きものたちに与える影響を目の当たりにし、すぐに自分事として捉え、必死に考えてくれました。子どもたちの柔軟な発想に期待しつつ、私たちが解決のために出来ることを1歩ずつ進めていきましょう。

2) 講座の内容

テーマ：藤前干潟－生きものたちの魅力にせまる！

1. 干潟ってどんなところ？
2. 藤前干潟の生きものたち
3. 藤前干潟がこまっている？！
4. 質疑応答



<メモを取りながら話を聞く児童>



<講座後にシジミを観察する児童>

3) 実施概要

実施日：令和3年7月16日（金）8:45～11:25

場所：名古屋市立豊治小学校（中川区）

対象：小学校4年生（3クラス、81名）

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所（TEL：052-389-2877）までお問い合わせください。

令和3年7月19日

名古屋自然保護官事務所

アクティブ・レンジャー 岸晃大